

株主の皆様へ

第115期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

ものづくりを通じて、
豊かな暮らしと持続可能な社会づくりに
貢献する企業集団を目指します。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第115期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

事業の概況

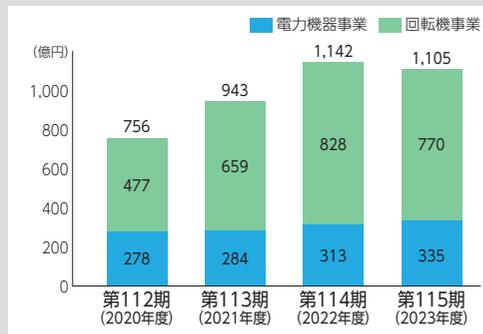
当期におけるわが国経済は、緩やかな回復が続いているものの、海外経済の減速やウクライナ紛争の長期化などにより、先行き不透明な状況が続いています。当社グループにおきましては、空調市場の中国不動産不況や巣籠り需要の反動による低迷、半導体市場の調整局面による伸び悩みなど、回転機事業の受注環境は厳しい状況となりました。

こうした状況の中、当社グループは

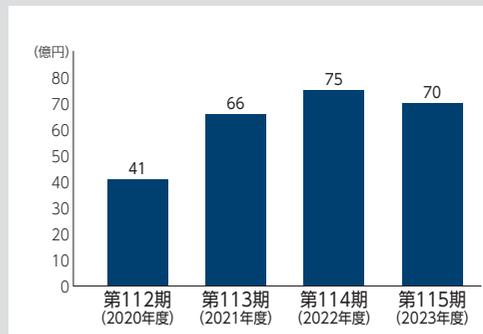
「中期経営計画2023～確かな技術で未来をひらく～変革と挑戦」の最終年度として経営目標の売上高1,000億円、経常利益60億円、ROA6.0%の達成に努めるとともに、持続的成長に向けた活動を推進してまいりました。電力機器事業では、次世代デジタル制御製品や水力発電システムなど新製品・新事業の創出に取り組むとともに、TPSかいぜん活動による生産性向上に努めました。回転機事業では、成長分野である車載空調圧縮機用モータの生産能力増強やパッケージ基板用コア（プリント配線板）の新工場立上げなどに取り組んでまいりました。

当期の連結業績につきましては、電力機器事業が全般的に堅調でしたが、回転機事業が建物空調圧縮機用モータの受注低迷により、売上高は前期比3.2%減の1,105億9千5百万円、営業利益は5.9

売上高 1,105億円



営業利益 70億円



%減の70億5千9百万円、経常利益は5.5%減の83億1千2百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は0.3%減の59億3千7百万円と前期比で減収減益になりましたが、中期経営計画の数値目標はいずれも達成いたしました。

配当について

期末の配当金につきましては、1株につき80円とさせていただきます。これにより、中間配当金を加えました通期の配当金は、1株につき160円となります。

今後の見通し

当社グループを取巻く事業環境は、空調市場が足元で調整局面となっておりますが、脱炭素化の流れやDXの進展などの社会環境の変化から、中長期的には、再生可能エネルギー関連の電力機器需要増

加やヒートポンプの市場拡大、電動車の更なる普及、半導体パッケージ基板の需要拡大と高度化・多層化が見込まれます。

こうした環境変化に迅速に対処するため、当社は2028年度を最終年度とする、新たな5年間計画「中期経営計画2028」を策定いたしました。この計画では基本方針の「新製品・新事業の発掘・育成」「ものづくり力の強化」「経営基盤の強化」により、信頼と品質を高め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

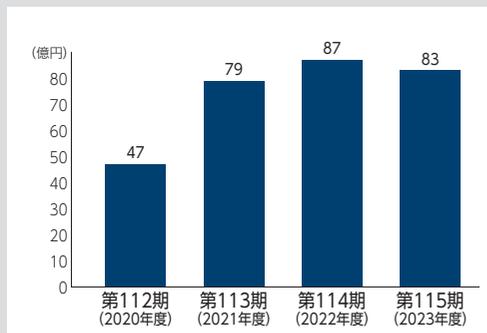
株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

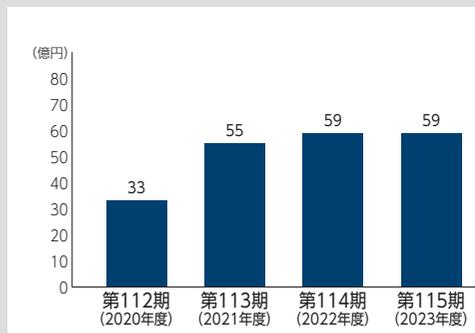
代表取締役社長

小林和郎

経常利益 83億円



親会社株主に帰属する当期純利益 59億円



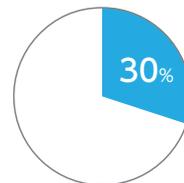
事業別の概況

■電力機器事業 売上高335億円

事業内容

各種変圧器、保護制御装置、再生可能エネルギー関連装置などの電力機器と粉体混合機などの産業機器の設計・製造・販売ならびに国内外の受変電用プラント工事の設計・施工を行っています。

売上高構成比



当期の概況

売上高は前期比6.9%増の335億6千万円、セグメント利益は前期比46.7%増の38億8千7百万円となりました。中型変圧器が送配電会社向け自動電圧調整器、一般産業向け変圧器ともに堅調であったことやプラント工事が国内で増加したことなどにより、増収増益となりました。

売上高推移(億円)



主要製品

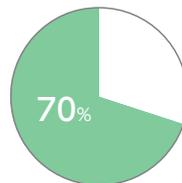


■回転機事業 売上高770億円

事業内容

空調圧縮機用ハーメティックモータ等の各種小型モータ、プリント配線板、電動ベッド用アクチエータ、シャッター開閉機など身近で活躍する製品を社会に提供しています。

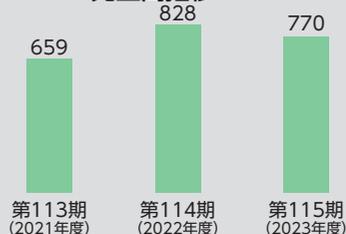
売上高構成比



当期の概況

売上高は前期比7.1%減の770億3千4百万円、セグメント利益は前期比24.5%減の50億7千5百万円となりました。プリント配線板や車載空調圧縮機用モータは前期を上回りましたが、建物空調圧縮機用モータが国内・海外向けともに大幅減となったことにより、減収減益となりました。

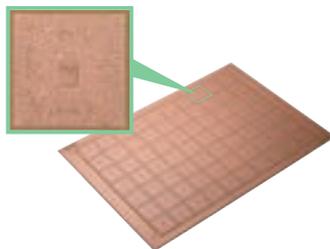
売上高推移(億円)



主要製品



空調圧縮機用
ハーメティックモータ



プリント配線板



アクチエータ
アクチエータ用駆動制御装置



水中ポンプモータ



シャッター開閉機



畜舎用換気扇



インバータ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末	前期末	負債純資産の部	当期末	前期末
	2024年3月31日現在	2023年3月31日現在		2024年3月31日現在	2023年3月31日現在
流動資産	86,668	84,660	負債の部		
固定資産	47,678	38,718	流動負債	41,058	39,580
有形固定資産	36,436	27,707	固定負債	18,762	15,284
無形固定資産	600	517	負債合計	59,821	54,865
投資その他の資産	10,641	10,493	純資産の部		
			株主資本	68,110	63,683
			その他の包括利益累計額	4,924	3,425
			非支配株主持分	1,492	1,404
			純資産合計	74,526	68,513
資産合計	134,347	123,378	負債純資産合計	134,347	123,378

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期	前期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	110,595	114,286
売上原価	94,954	98,118
売上総利益	15,640	16,167
販売費及び一般管理費	8,580	8,663
営業利益	7,059	7,504
営業外収益	1,562	1,559
営業外費用	309	270
経常利益	8,312	8,793
特別利益	259	66
特別損失	30	364
税金等調整前当期純利益	8,541	8,494
法人税、住民税及び事業税	2,343	2,452
法人税等調整額	243	18
当期純利益	5,955	6,023
非支配株主に帰属する当期純利益	17	69
親会社株主に帰属する当期純利益	5,937	5,954

個別貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末	前期末	負債純資産の部	当期末	前期末
	2024年3月31日現在	2023年3月31日現在		2024年3月31日現在	2023年3月31日現在
流動資産	45,052	47,455	負債の部		
固定資産	29,420	27,911	流動負債	15,708	20,393
有形固定資産	9,985	9,059	固定負債	7,454	6,672
無形固定資産	70	84	負債合計	23,163	27,066
投資その他の資産	19,364	18,766	純資産の部		
			株主資本	49,542	47,241
			評価・換算差額等	1,766	1,059
			純資産合計	51,309	48,300
資産合計	74,473	75,367	負債純資産合計	74,473	75,367

個別損益計算書

(単位:百万円)

	当 期	前 期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	60,261	60,797
売上原価	52,684	53,128
売上総利益	7,576	7,669
販売費及び一般管理費	4,883	4,847
営業利益	2,692	2,821
営業外収益	2,215	1,507
営業外費用	69	88
経常利益	4,839	4,239
特別利益	224	23
特別損失	8	341
税引前当期純利益	5,055	3,921
法人税、住民税及び事業税	945	868
法人税等調整額	298	132
当期純利益	3,811	2,920

経営

「中期経営計画2028」がスタート

2024年度から2028年度までの5年間の新中期経営計画を策定し、本年4月から活動を開始しました。

「新製品・新事業の発掘・育成」、「ものづくり力の強化」、「経営基盤の強化」を基本方針とし、2028年度に連結売上高1,500億円、連結営業利益100億円、ROIC 6%以上の達成を目指していきます。

愛知電機グループ 中期経営計画 2028

基本方針

新製品・新事業の発掘・育成、ものづくり力の強化、経営基盤の強化により、信頼と品質を高め、持続的な成長と企業価値の向上を目指す。

新製品・新事業の発掘・育成

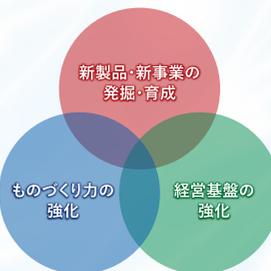
新製品を積極的に提案して、事業領域を拡大するとともに、お客さま・ビジネスパートナーとの信頼関係を強化し、新たな市場への事業展開を進め、新製品・新事業の発掘・育成を図る。

ものづくり力の強化

市場・お客さまニーズに対応したグローバルな生産拠点・体制の整備と、設計・製造・検査業務のデジタル化や自動化を進め、メーカーとしてのものづくり力の強化を図る。

経営基盤の強化

人材の確保・育成および能力を最大限発揮できる環境を整備するとともに、企業としてのガバナンスの最適化とコンプライアンス・リスクマネジメントの強化を図る。



経営目標

2028年度目標

連結売上高
1,500億円

連結営業利益
100億円

ROIC※
6%以上

愛知電機グループ

利益配分

安定配当を基本方針としながら、業績に応じた利益配分を行うこととし、連結配当性向30%以上を目指す。

※ ROIC(投下資本利益率) = 税引後営業利益 ÷ (株主資本 + 有利子負債)

パッケージ基板用コアの新工場が竣工

連結子会社の㈱愛工機器製作所は、新たな生産拠点として、パッケージ基板用コアの製造ライン設置を進めてきた新発田工場（新潟県新発田市）で、製造を開始しました。

パッケージ基板用コアは、高速通信や生成AI、IoTの普及加速およびDXの進展を背景に、中長期的に需要拡大が見込まれています。同社は、これまで本社工場（愛知県春日井市）でパッケージ基板用コアを製造しており、これに新発田工場を加えることで、生産能力は約25%増となります。

また、新発田工場では引き続き第4期増強を進めております。当社グループは、パッケージ基板用コア事業の更なる拡大を目指していきます。



新発田工場外観

電力機器事業

信号線条変圧器盤の開発

電柱の下方、地上から操作可能な高さに固定できる信号線条変圧器盤を開発しました。

従来、鉄道会社は高圧カットアウト^(※)や信号線条変圧器を電柱の上方に別々に配置していました。

近年は、高圧カットアウトや信号線条変圧器を箱内に収納し、地上に設置するタイプの変圧器（以下、地上設置変圧器）の導入が進められています。しかし、高架化された鉄道など、地上設置変圧器を設置する基礎を設けることが難しい狭隘な場所も存在します。

本装置は、このような場所でも設置が可能であり、メンテナンス性が向上しました。これにより、保全業務の効率化が期待できます。

(※) 高圧カットアウトとは、高圧機器を回路から切り離すスイッチの一種。



信号線条変圧器盤
(装柱状態)

電力機器事業

力率一定制御機能を追加した自動電圧調整器（A²-STATCOM）の開発

本装置は、無効電力を連続的かつ高速に制御して配電系統の電圧を調整する装置です。今回、力率を一定に制御する機能を本装置に追加することで、より配電系統の系統品質を高めることができます。また、これにより、誘導発電機を利用した再生可能エネルギー発電設備の力率改善が容易となりました。

近年、再生可能エネルギーのうち、安定して電力の供給が可能である小水力発電やバイオマス発電、バイオガス発電への期待が高まり、これに伴い本装置の受注が増加しています。

今後も、電力の安定供給に役立つ製品や顧客ニーズを的確に捉えた製品を開発していきます。



自動電圧調整器
(A²-STATCOM)

回転機事業

白鳥恵那愛知電機(株)創立50周年

連結子会社の白鳥恵那愛知電機(株)が創立50周年を迎えました。

同社は、モータおよび応用機器の重要な生産拠点です。世界的な電動車市場拡大に伴い、2023年度は、車載用モータコアを増産するため、プレス機導入など生産設備の増強を進めました。

今後も、車載用モータをはじめとしたモータ事業の更なる発展を目指していきます。



プレス機

IR活動

昨年度に引き続き「名証IRエキスポ」に参加しました。また、機関投資家向け決算説明会を開催し、新たな中期経営計画を説明しました。

今後も積極的にIR活動を実施してまいります。

「名証IRエキスポ2023」に参加



当社ブース



会場の全景

機関投資家向け決算説明会を開催



決算説明会の様子



当社ホームページ画面

URL : <https://www.aichidenki.jp/ir/briefing.html>



■会社概要 (2024年3月31日現在)

愛知電機株式会社 AICHI ELECTRIC CO., LTD.

設立年月日 1942年5月27日
 資本金 40億53百万円
 従業員数 1,090名 (連結：2,805名)
 本社所在地 〒486-8666
 愛知県春日井市愛知町1番地
 電話 0568-31-1111

■役員状況 (2024年6月27日現在)

代表取締役社長	小林和郎
常務取締役	加藤忍
常務取締役	垣原正樹
取締役	田島久嗣
取締役	須田芳和
取締役	横手幸成
取締役	柴山浩継
取締役	中世古不士雄
取締役(社外)	浦上敬一郎
取締役(社外)	瀬尾英重
監査役	細江秀喜
監査役(社外)	古田真二
監査役(社外)	橋本涉

■株式状況 (2024年3月31日現在)

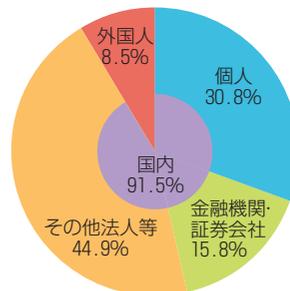
発行可能株式総数 23,912,200株
 発行済株式の総数 9,500,000株
 株主数 12,650名

大株主 (上位10位)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
中部電力株式会社	2,326	24.4
古河電気工業株式会社	565	5.9
TSUCHIYA株式会社	500	5.2
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	360	3.7
株式会社三菱UFJ銀行	312	3.2
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	303	3.1
株式会社川口興産	200	2.1
明治安田生命保険相互会社	175	1.8
東京海上日動火災保険株式会社	164	1.7
SWCC株式会社	129	1.3

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2. 出資比率は自己株式(2,539株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
定時株主総会の 権利株主確定日	3月31日
期末配当金の 受領株主確定日	3月31日
中間配当金の 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 名古屋市中区栄三丁目15番33号
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.aichidenki.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、名古屋市において発行する中日新聞に掲載して行います。

1 単元未満株式(100株に満たない株式)の 買取・買増制度のご案内

ご所有の1単元未満株式を当社に買取または買増請求できる制度があります。ご希望の株主様は次の「各種お手続きのお申し出先」にお申し出ください。

各種お手続きのお申し出先

(お名前・ご住所の変更、単元未満株式の買取・買増等)

証券会社に口座を開設されている株主様

→ お取引先の証券会社にお申し出ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様

→ 三井住友信託銀行にお申し出ください。

未払い配当金の支払について

三井住友信託銀行にお申し出ください。



愛知電機株式会社

AICHI ELECTRIC CO., LTD.

<https://www.aichidenki.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。